

# 平成 25 年度（2013 年度）第 1 回運営委員会記録

豊中市教育センター

日 時 平成 25 年（2013 年）7 月 1 日（月）

会 場 豊中市教育センター 研修室

出席者 山崎委員、三木委員、高橋委員、安川委員、藤原委員、川崎委員、  
井坂委員、大野委員、越桐委員、渡邊委員、芹沢委員、西澤委員

欠席者 久岡委員、亀田委員、藤本委員

事務局 林所長、山本チーム長、野村チーム長、田中チーム長（記録：井関・正岡）

傍聴者 0 名

○委員紹介

○所長挨拶

## 1. 開会の挨拶（副委員長）

- ・今日の教育課題に対応した事業運営が求められている。

## 2. 案件

### （1）本年度の教育センターの組織・運営について（事務局）

- ・組織の概要
- ・利用者、利用件数
- ・センターの担う役割
  - ① 教職員研修の充実
  - ② 支援を必要とする児童生徒への教育支援の充実

### （2）本年度の事業計画について（事務局）

#### ○教育計画チーム

##### 研究・研修グループ

- ・学校教育の研究・調査に関すること
- ・教職員の研修に関すること

##### 情報・科学グループ

- ・情報教育に関すること
- ・科学教育に関すること
- ・市民対象の教育に関する講座に関すること

#### ○教育相談チーム

- ・教育センターにおける教育相談に関すること
- ・学校への教育相談員派遣に関すること
- ・教育相談窓口での電話相談に関すること
- ・サポート会議に関すること
- ・教育相談に関わる研修に関すること

## ○支援教育チーム

- ・ 支援学級の設置及び指導に関すること
- ・ 学校教育に係わる相談及び指導に関すること

## 【質疑・意見】

- ・ iPad を小学校 39 校に導入しているとのことであるが、現在、何台導入されているのか。教室の無線 LAN の環境について教えてほしい。
  - 現在、約 230 台、導入されている。校内 LAN の環境整備を進めており、全ての普通教室で無線 LAN を使用することができる。アクセスポイントを今後増やしていく。
  - 学習に役立つアプリケーションの活用法などの研修も行う。
- ・ 子どもたちは iPad やスマートフォンを生活の中で活用している。デメリットを理解したうえで活用することが大切である。
- ・ 研修の結果検証はどのように行っているのか。
  - 研修終了後、参加者にアンケートをとっており、研修のテーマや内容について検証を行っている。今後も、満足度や学んだことをどのように活用していくかなどの調査を行い、より効果的な研修になるようにしていきたい。
- ・ 支援教育チームの巡回相談では、どのような相談を受けているのか。
  - 発達に関する相談が多い。専門的な視点から見た子どもの見立てを行い、学校に伝えることが効果的な教育活動につながっている。学校からの巡回相談の要望は増えている。
- ・ 支援教育と医療・福祉との連携はどのようになっているのか。
  - 福祉・医療・教育の間で、必要に応じた情報連携を進めている。また、その仕組みについて検証を行い、途切れない支援を目指している。
- ・ 心理的・発達的に課題のある子どもへの対応について、学校ではどのように行われているのか。
  - 校内研修等を通して発達障害の子どもへの指導についての理解を図っている。教育センターにおいても、臨床心理士の学校派遣や具体的な事例集の作成、子どもへの対応について理解を深める研修を実施している。
- ・ 表面的な部分だけを見るのではなく、関係機関や保護者と連携しながら実態・背景・要因を紐解いていかなければならない。研修もその一翼を担うものである。
- ・ 教育相談チームによる来所相談について、学校を訪問して行う形態に変えていったらどうか。
- ・ 配慮が必要な子どもに対する個別の支援計画では、具体的で効果的な指導法や長期計画の充実が必要だと感じている。
  - 支援計画を立てる際には、より具体的な計画が立てられるよう情報を提供している。
- ・ 毎年多くの初任者が採用されているが、今後どのように育成していくのか。学校の中心となっていく意識を育てる必要があるのではないか。

→本年度から、初任者研修と10年経験者研修を合同で実施し、10年経験者が初任者に助言する機会を設けている。

- ・経験年数の少ない教員が中心となって学校運営を行っているところもある。伝えていくべきことを伝えていくことが必要である。

- ・教育センターにある資料（教科用図書や教師用指導書、平和教材など）の活用を進めるための取組みはあるか。

→平成25年度（2013年度）に豊中市で使用する教科用図書の教師用指導書を購入し、研修に役立てている。

ブックプラネット事業と連携して、インターネットで蔵書を検索することができるようになった。

### 3. 閉会の挨拶（所長）

- ・皆様のご意見を取り入れつつ、さらなる事業内容の充実を図っていきたい。